

令和3年9月12日に鹿児島県南さつま市

大浦地区で発生した突風について

～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

9月12日（日）08時40分頃、鹿児島県南さつま市大浦地区で発生し被害をもたらした突風の種類は竜巻の可能性のあるものの特定には至りませんでした。その強さは、風速約35m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

9月12日08時40分頃、鹿児島県南さつま市大浦地区で、倉庫の側壁の一部が破損するなどの突風による被害がありました。

このため、鹿児島地方気象台は突風をもたらした現象を明らかにするため、9月13日に職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

1. 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性のあるものの特定に至らなかった。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・被害域が帯状に分布していた。
- ・激しい風はごく短時間であったとの証言が得られた。
- ・被害や痕跡、聞き取り調査から、被害をもたらした現象を推定できる情報が得られなかった。

2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF0 に該当します。

(根拠)

- ・ 軽自動車の横滑り。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：鹿児島地方気象台 電話：099-250-9919